資料2

北部丘陵活性化計画アクションプラン進捗確認シート（2019年1月31日現在）

◎：当初予定以上　○：当初予定どおり　△：当初予定を下回る　×：当初予定を大幅に遅れている

事業番号	事業名称	指標	2018年度実施計画	年度目標の評価	2018年度末の見込み（2019年3月31日までに実施すること）	2018年度該当事業予算額	2019年度の予定	備考
1	新たな交流・回遊拠点の開設【重点事業】	開設された交流・回遊拠点の数	開設に向けた検討	△	・関連部署と検討して開設箇所候補地の土地及び建物の所有権や使用条件等をまとめ、地域団体に候補地を提示しました。（農業振興課）		新たな交流・回遊拠点の場所及び運営主体の選定を行います。（農業振興課）	
2	里山環境の回復や保全を促進する仕組みの構築【重点事業】	新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積	モデル地区での事業の実施	◎	・抽出したモデル地区の一つである上小山田町ヤマツツジの里において、田中谷戸街づくり協議会と協定を締結し、新たな取り組みによる山林の活用を開始し、山林の活用面積は累計で19,000㎡（見込）となりました。 ・2019年度のモデル事業の実施に向けて、新たな候補地を選定しました。 ・2018年2月から山林バンクモデル事業により下小山田町で活動していたHATARAKU認知症ネットワーク町田の取り組みが、NHK厚生文化事業団が2017年度に設立した「認知症にやさしいまち大賞」において、全国から寄せられた45の取り組みの中から本賞（本賞5団体、特別賞2団体）を受賞しました。（農業振興課）		モデル地区での実践を通じて仕組み等の課題を把握し、町田市山林バンクの本格運用に向けた準備を進めます。（農業振興課）	アクションプランで2020年度の目標水準として設定した、新たな取り組みにより維持管理や活用が図られた山林等の面積5,000㎡を、2017年度に前倒しして達成することが出来たため、目標水準を30,000㎡へ、2018年度の目標値を14,000㎡へ上方修正しました。（農業振興課） ・2018年度活用面積目標値　14,000㎡（累計）　19,000㎡（見込） ・2019年度活用面積目標値　22,000㎡（累計） ・2020年度活用面積目標値　30,000㎡（累計）
3	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の構築【重点事業】	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げ	○	・2月8日に2018年度第2回町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会を開催し、今年度の取り組み結果について意見交換しました。 ・小さなプラットフォームの形成と活動の具体化を目指し、11月18日に小野路ミーティングを開催しました。 ・小野路ミーティングを契機として参加者が立ち上げた小野路の情報発信をする活動準備会に対し、継続した支援を行いました。（農業振興課）	北部丘陵活性化計画推進委託料　1,000千円 北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会委員謝礼　295千円	・町田市北部丘陵活性化計画アクションプランの進捗状況の確認や、ヒアリングやワークショップで得た様々なご意見を共有するため、2019年度も町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン検討委員会を継続して開催します。 ・小山田ミーティングを実施します。 ・小さなプラットフォームの更なる形成と活動の具体化を目指し、ワークショップを継続して実施していきます。（農業振興課）	・2018年度から2020年度の3ヶ年で「（仮称）北部丘陵まちづくり推進ネットワーク」の立ち上げを目指します。（農業振興課）
4	幹線道路等の計画・変更等【重点事業】	市道忠生579号線（Ⅰ期）及び市道忠生630号線（Ⅱ期）の整備完了	用地取得、整備	△	【忠生579号線（第Ⅰ期）】 全地権者から事業に賛同いただけるよう繰り返し説明を行いましたが、測量実施には至りませんでした。そのため、用地取得は実施できない状況です。（道路整備課） 【忠生630号線（第Ⅱ期）】 多摩市側の測量と2019年度工事に向けた詳細設計を実施しました。また、2020年度工事に向けて用地取得も進めました。（道路整備課）	設計委託料　22,250千円 用地購入費　138,506千円 物件補償料　74,773千円 消耗品費　190千円 測量委託料　19,250千円 調査等委託量　26,791千円 管理工事費　4,000千円 整備等負担金　1,364千円 不動産鑑定・評価委託料　6,168千円	【忠生579号線（第Ⅰ期）】 全地権者から事業に賛同いただけるよう繰り返し丁寧に説明を行い、引き続き測量業務を実施します。また、測量完了後、詳細設計を実施し、2027年度の整備完了を目指します。（道路整備課） 【忠生630号線（第Ⅱ期）】 南側から工事に着手していきます。また、引き続き、用地取得を進め、2021年度の整備完了を目指します。（道路整備課）	【忠生579号線（第Ⅰ期）】 2019年度の整備完了を目指していましたが、測量業務が完了していないことから、事業工程の見直しを行いました。 整備完了：2019年度→2027年度に変更 【忠生630号線（第Ⅱ期）】 道路線形について、関係機関との調整に時間を要していたことから、2017年度に事業工程の見直しを行っています。 整備完了：2019年度→2021年度に変更 （道路整備課）
5	北部丘陵での活動や魅力の効果的な情報発信【重点事業】	市主催イベントの申込率	73%	△	7月までのイベント申込率は、平均で73%でした。 8月以降のイベントでは、 【親子で稲刈り体験】 10月　小野路町奈良ばい谷戸　20% 【親子でさつま芋掘り体験】 11月　小野路町奈良ばい谷戸　100% 【源流ウォーク】 11月　上小山田町源流保水の森　55% 【木こり応援隊（小野路町）】2月　55% 【植樹会（ 上小山田町源流保水の森）】2月　55% で平均57%でした。 よって、今年度平均では65%となり、73%に届きませんでした。（農業振興課）	里山環境維持保全協働事業委託料　2,000千円	2019年度のイベント開催は、小野路町奈良ばい谷戸及び上小山田町源流保水の森で今年度と同回数程度を予定していますので、申込率の向上に向けてPR方法等を検証します。（農業振興課）	
6	農地の改善や農道の整備	整備した農道の総延長 整備した農地の総面積	農道：約3,400m（内、今年度　約100m） 農地：約2.1ha（内、今年度約0.5ha）	△	・当初は農道80m、農地0.45haを整備する予定でしたが、整備効果を上げるために適地を選定し直し、農地0.16haを整備しました。（農業振興課）	工事費　12,668千円	工事による効果が高い土地を精査し、整備個所を見直した結果、農地0.25haを整備予定です。（農業振興課）	2018年度に農地を0.16ha整備することで、累計は農道3,269m、農地1.54haとなる見込みです。そのため、目標である農道約3,400m、農地約2.1haには届かない見込みです。（農業振興課）
7	農業研修事業	農業研修事業修了者数	86人（累計）	△	・2018年度は11名が修了し、累計修了者数は85名となりました。（農業振興課）	農業研修事業費（需用費、委託料）　6,221千円	2019年度は10名が修了予定です。（農業振興課）	2015年度から農業研修の修了生を対象に、更なる農業技術の向上と経営のノウハウの習得等を目標にフォロー研修を実施しています。2017年度までで累計修了生は16名となっています。（農業振興課）

北部丘陵活性化計画アクションプラン進捗確認シート（2019年1月31日現在）

資料2

◎：当初予定以上　○：当初予定どおり　△：当初予定を下回る　×：当初予定を大幅に遅れている

事業番号	事業名称	指標	2018年度実施計画	年度目標の評価	2018年度末の見込み（2019年3月31日までに実施すること）	2018年度該当事業予算額	2019年度の予定	備考
8	農地あっせん事業	あっせんを行った農地の面積	約14.5ha（累計）	○	・2018年9月1日付けで、4件（約0.48ha）の新規農地の貸借が成立し、合計あっせん面積は、約15.3haとなりました。（農業振興課） ・2019年3月31日時点で、6件（約0.74ha)の農地を新たに農地バンクへ登録しました。（農業委員会事務局）		・工事による効果が高い土地を精査し、農地0.16haを整備した結果、2019年1月に実施した第2回農地バンク公開で申し込みがあり、2019年4月1日付けで2件（0.26ha）の新規農地貸借が成立する見込みです。また、農地パトロールの結果に基づいて、あっせん面積を増やしていきます。（農業振興課） ・農地パトロール候補地の選定方法について、今一度検討し農地バンクの登録面積を増やしていきます。（農業委員会事務局）	2018年7月に第1回農地バンク公開を実施した結果、2018年9月1日付けで4件（0.48ha）の新規農地貸借が成立する見込みです。
9	農業体験事業	市民農園、体験農園、収穫体験農園の合計数	農業者等への働きかけ	○	・農家に配布する農業委員会だよりで農家開設型貸し農園の制度周知と開設を働きかける内容の記事を掲載した結果、2件の相談がありました。 ・9月の都市農地貸借円滑化法の施行を受けて生産緑地での開設希望者1件、その他所有地での開設希望者1件の相談がありました。（農業振興課）		引き続き農業委員会だより等を通じて農家に開設を働きかけます。あわせて開設支援のために既存の補助制度を活用するなど、周知方法を検討します。（農業振興課）	
10	市民協働による里山環境の再生・保全	市民協働による里山環境の再生・保全を実施した事業数	新たな場所での取り組みの実施 4件（累計）	△	・1月11日に小山田四季彩の森付近の山林において、想定している担い手（町田マウンテンバイク友の会）が円滑に活動を始められるよう、担い手と周辺の地権者と共に現地確認を行いました。 ・活動を始める際の規制の対象となる法令について、関係部署と協議を行い、課題の整理を行いました。 ・10月20日に小山田四季彩の森で植栽木を守る草刈と農地を活用したイベントを、2月16日に小野路町で山林の保全活動を行うイベント（木こり応援隊）を開催しました。（農業振興課）	講師謝礼　400千円	・課題の解決を図り、新たな場所での取り組みを実施します。 ・小山田四季彩の森や木こり応援隊の実施の際に頂いた意見を参考に、2019年度の活動の充実を目指します。（農業振興課）	
11	生活道路の整備	都道155号線の事業決定	地元の合意形成に向けた支援、整備及び管理計画の策定	△	・地元の合意形成に向けて、10月20日に田中谷戸街づくり協議会で現状と今後の方向性について意見交換を行いました。 ・測量については、一部の地権者との協議を行った結果、対象地での測量の合意を得ることができました。 ・関係部署と整備と管理の手法について、協議を行い整備及び管理計画（案）の内容を追記しました。（農業振興課）	委託料　500千円	・地元の合意形成に向けて、田中谷戸街づくり協議会を支援していきます。 ・実施手順、工程等について東京都等の関係機関と協議を継続し、都道155号線整備及び管理計画の策定を目指します。（農業振興課）	
12	新規バスルートの整備、増便	バス事業者が新たに自主運行を行った路線数	検証運航（小山田桜台、唐木田間）	◎	検証運行の利用者数拡大のため、小型バスの導入に向けた交差点改良等の走行環境整備工事を実施しました。また、小型バスの運行開始に向けてバス事業者との協議を進め、2019年8月に運行を開始する準備が整いました。（交通事業推進課）	工事請負費　64,802千円 公有財産購入費　20,140千円 備品購入費　940千円	小山田桜台から唐木田駅方面への小型バスによる運行を開始します。また、小型バス導入後の利用者数拡大を目指し、地域住民へ利用啓発を行います。（交通事業推進課）	
13	市街化調整区域における土地利用方策の検討（地区計画制度等の活用）	市街化調整区域内における地区計画活用の考え方の決定	地区計画活用の考え方の決定	○	地元の3つの地区街づくり団体にもご意見をいただきながら、市街化調整区域地区計画運用指針を策定しました。（都市政策課）	（土地利用方向検討）　5,000千円	策定した市街化調整区域地区計画運用指針の運用を開始し、各地区街づくり団体との協議を進めます。（都市政策課）	
14	里山の景観を楽しむ散策コースの整備	新たに整備された散策コースの数	権利者等との調整	○	・鶴見川源流保水の森の展望点を安全に利用できるよう、柵を設置しました。（農業振興課） ・8月29日、9月12日に「散策DE通行手形」について、小野路街づくりの会の会員等と共に現地確認を行いました。	工事費　2,063千円	・「散策DE通行手形」について、引き続き権利者や活動団体との調整などを通じ、小野路街づくりの会を支援します。（農業振興課）	「散策DE通行手形」は、ポイントラリーの要素を取り入れた新しい散策コースを小山田、小野路地域に作り、何度でも北部丘陵を訪れたくなるよう仕掛けをし、北部丘陵のファンを増やす取り組み。
15	花のある道づくり	整備された箇所数	維持管理を行う団体等の募集・呼びかけ	△	・10月20日に小山田四季彩の森のイベントの中で、参加者と共に試験的に菜の花の植え付けを行いました。 ・1月29日に担い手の候補者の方と選定候補地の現地確認を行いました。（農業振興課）		・試験的に実施した場所での検証を行い、整備と管理方法を確立します。 ・選定候補地での実施を目指します。（農業振興課）	